座る×坐る×据わる

URBAN PICNIC × KOBE DESIGN UNIVERSITY

東遊園地の「すわりかた」をデザインする

報告書

神戸芸術工科大学

目 次

0　はじめに

0-1　本報告書について
0-2　概要
0-3　業務対象敷地

1　ワークショップ

1-1　企画内容
1-2　当日の様子
1-3　参加者が製作したすわり方
1-4　アンケート調査と結果
1-5　ワークショップ動画

2　関係者ヒアリング

2-1　ヒアリング内容
2-2　当日の様子

3　フレンズヒアリング

3-1　ヒアリング内容
3-2　当日の様子
3-3　ヒアリング内容と結果
3-4　まとめ

0

はじめに

0-1　本報告書について

本プロジェクト " 東遊園地の「すわりかた」をデザインする " では、一般社団法人リバブルシティイニシアティブのみなさまと共に、神戸市中央区の都市公園「東遊園地」において、日本ならではの芝生の楽しみ方を背景とした座具を開発するため、その要件（課題と可能性）を整理するためのワークショップをヒアリングを開催しました。その内容と結果についてご報告させていただきます。

0-2　概要

旧居留地の東側にある河川敷を、外国人専用のプレイグラウンドとしたところから歴史が始まった東遊園地。近年この公園ではルミナリエや神戸まつり等の大規模なイベント以外ではあまり利用されていませんでした。そこで 2015 年より市民有志が神戸パークマネジメント社会実験実行委員会を組織し、社会実験の構想が始まりました。社会実験のプログラムは、アウトドアライブラリーとファーマーズマーケットの 2 本立てとし、公園には仮設の芝生を敷き、神戸らしいライフスタイルを発信しながら 2018 年まで様々な形で社会実験「URBAN PICNIC」を行ってきました。

そして 2019 年、神戸市による Par-PF1(公園設置管理制度) を活用して市中心部の「東遊園地」に拠点施設を整備する民間業者として村上工務店が選定されました。

東遊園地では 2015 年以来、社会実験の開催中は毎日芝生の上に、イスを広げ、夕方になると片づけるということを繰り返してきました。そのイスをめがけて芝生に一歩踏み出す様子、腰掛ける人びとの様子、いろんな使いかたを試している様子など、さまざまなシーンを見ながら、東遊園地を心地よく利用するために最適な座具のデザインが必要であると考えました。　そこで、デザインを専門に学んでいる、私たち神戸芸術工科大学の学生と「URBAN PICNIC」がコラボし、東遊園地のため座具製作のコンペ要項の原案作成を担当させていただきました。

■ 業務名　　：東遊園地の「すわりかた」をデザインする

■ 発注者　　：一般社団法人リバブルシティイニシアティブ

■ 期間　　：令和 2 年 9 月 18 日から令和 3 年 7 月 3 1 日まで

■ 受託者　　：神戸芸術工科大学

■ 業務内容　　：1　「すわりかた」を体感するワークショップ企画・運営

1-1　ワークショップ企画
1-2　ワークショップ当日の運営
1-3　記録：映像撮影・動画製作 / グラフィックレコーディング

2　要項整理のための関係者とフレンズヒアリング

2-1　関係者の要望ヒアリング
2-2　フレンズへヒアリング
2-3　記録：映像撮影・動画製作 / グラフィックレコーディング

3　要項条件整理・まとめ

3-1　条件整理
3-2　要項原案まとめ

0-3　業務対象敷地

東遊園地 (兵庫県神戸市中央区加納町 6 丁目 4)

1

ワークショップ

1-1　企画内容

■ 目的

　東遊園地のための座具をデザイン・製作する際のヒントを得る為に今回ワークショップを開催しました。
今回開催するワークショップでは、これからの東遊園地について一緒に考えてくれる方と共に、東遊園地で“すわる“ということを目的とし、その体験や発見を共有しました。
事前に準備した材料 (材料参照) と、参加者が日常生活で使用しているアイテムや素材の中から東遊園地で使ってみたいモノを持参してもらい、参加者が素材を組み合わせて”すわる”を考え、東遊園地の過ごしやすい空間や使い方を見つけ出します。ワークショップの中で、お互いに考えた”すわる”を披露し合い、体験や発見の共有を行いました。

■ 概要

日　　時　：2020 年 10 月 25 日 (日) 13 時～ 15 時
場　　所　：東遊園地 芝生広場 周辺
対　　象　：ワークショップをきっかけに、これからの東遊園地について一緒に考えてくれる方
内　　容　：強化段ボール・スタイロフォーム・参加者が持参したアイテムや素材を使用して座具を製作し、
　　東遊園地で自分なりの居心地の良い空間を作り、参加者同士で披露し合い体験の共有を行います。
参加人数　：30 名
材　　料　：【企画者準備物】
　・強化段ボール
　　厚さ 10mm：大きさ 300 × 300mm (67 枚)
　　400 × 400mm (15 枚)
　　600 × 600mm (15 枚)
　・スタイロフォーム
　　厚さ 50mm：大きさ 910 × 1820mm (162 枚)
【参加者持参物】
参加者が日常生活で使用しているアイテムや素材の中から東遊園地に持って行ってみたい材料

〈強化段ボール〉

〈スタイロフォーム〉

■ 期待する効果

　東遊園地における多様な過ごし方を視える化し、生まれ変わる東遊園地ではどんな座具があれば " 使いやすい " のか " 使いたくなる " のかを共有することで、今後の座具製作に向けた条件整理を行う上でのヒントを得ることができます。また、このワークショップを通して、参加者が東遊園地での新しい過ごし方や魅力的な場所を発見することにつながり、今後の東遊園地の活用の幅を広げます。

■ ロゴ

「座る - 場所 /Place」「坐る - 行為 /Action」「据わる - 体感 /Feeling」
意味が異なる 3 つの " すわる " から考案しました。

座る × 坐る × 据わる
URBAN PICNIC × KOBE DESIGN UNIVERSITY

■ イメージ画像

■ タイムスケジュール

13:00	集合
13:00 - 13:20	神戸芸術工科大学学生から挨拶 自己紹介 / 企画説明 / アイスブレイク
13:20 - 14:20	すわり方探し開始
14:20 - 14:35	アンケート記入時間＋休憩
14:35 - 14:55	参加者の感想発表
14:55 - 15:00	まとめ
15:00	解散

■ 準備の様子

1.　開催までに、何回も学生で打合わせや試作を行いました。

2.　UP の運営をしている RiverWorks さんとの打ち合わせの様子。

3.　東遊園地でも学生で打合せを行い、体感しました。

2.　ワークショップの材料のサイズを検討中。

1-2　当日の様子

当日の準備・運営・進行・撤収まで全て学生が行い、その様子をまとめました。

1.　ワークショップ前の最終打合わせの様子。
学生はみんな緊張していました。

2.　東遊園地に青色のスタイロタワーが立ち並んでいました。
" これは何ですか " とたくさんの人から声をかけられました。

3.　ワークショップの受付の様子。

4.　ワークショップ開始。
まずはじめに、企画の内容の説明を行いました。

5.　説明を行なっている間にも参加者には素材に触れてもらいました。早速使いこなしてくれている様子。

6.　個人、友人、家族など参加の形は様々で、当日、飛び入り参加の方もいました。参加者は定員３０名集まりました。

7.　子供たちはテーブルと椅子を作り、持参した UNO で大盛り上がりでした。

8.　家族で参加してくれた方の作品です。子どもを囲うように両親が座り、見ているだけで微笑ましくなる”すわる”でした。

9.　若い男性グループの作品です。
段差を背もたれにして日向で日光浴を楽しんでいました。

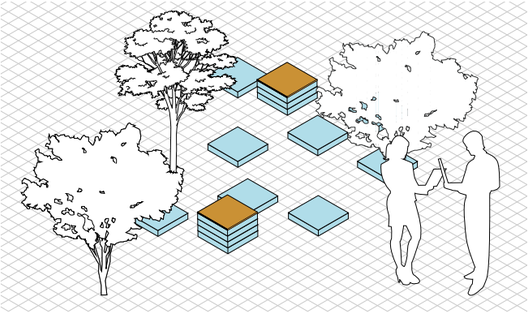
10.　留学生グループ作品です。視線が変わる程の高さがあるすわり方は芝生広場を独占してる様で気持ち良かったそうです。

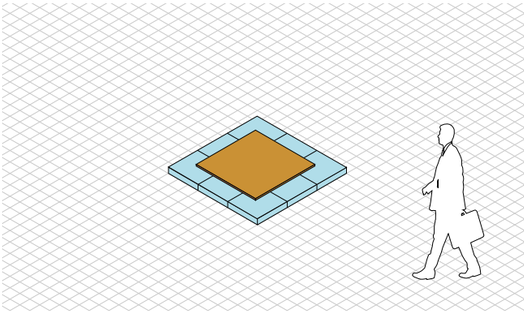
11.　最後に、グラフィックレコーディングを使用して、ワークショップの振り返りを行いました。

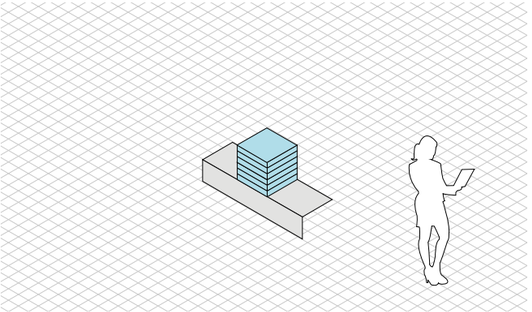
12.　ワークショップ参加者のみなさんと集合写真。

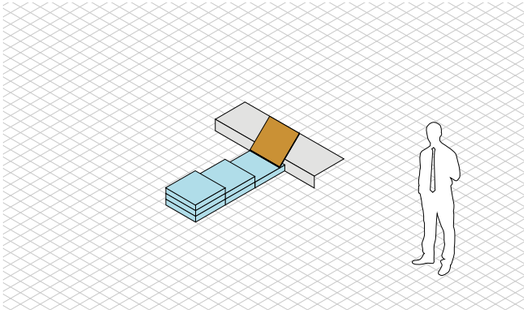
1-3　参加者が製作したすわり方

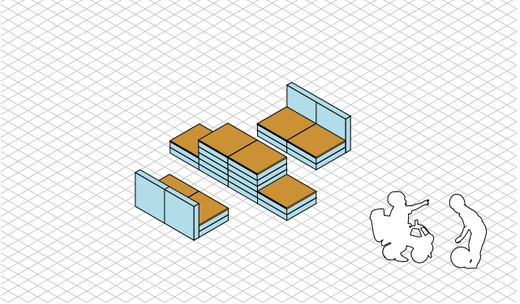
■ 簡易モデル化

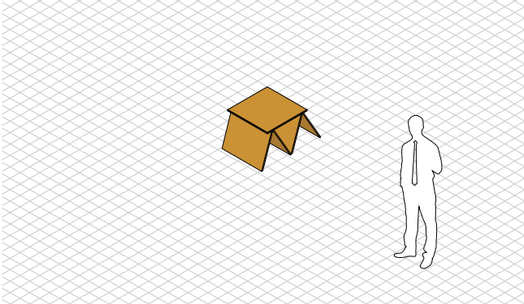

大学生 - 2人

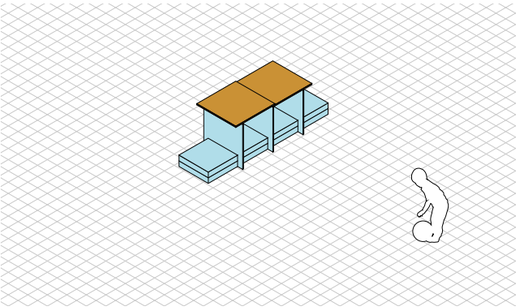

社会人 30代 - 1人

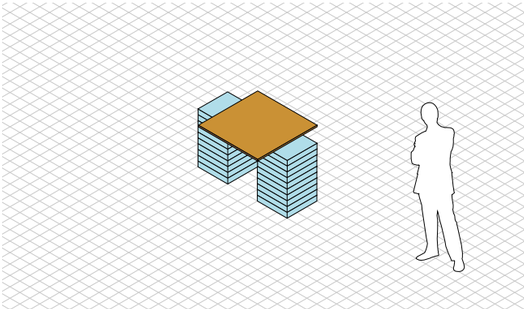

親子 - 2人

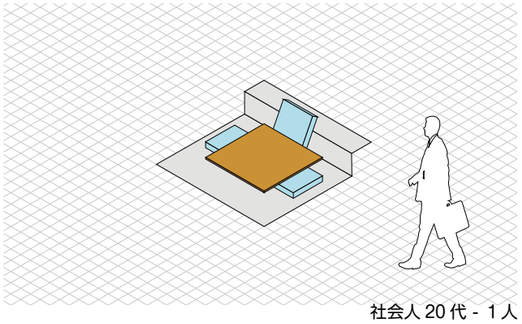

社会人 20代 - 1人

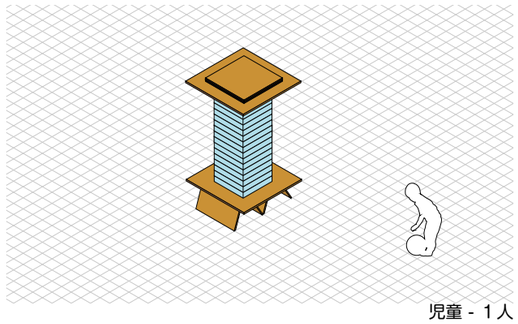

児童（兄弟）- 4人

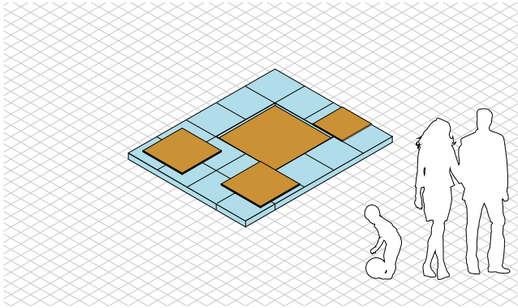

大学生 - 2人

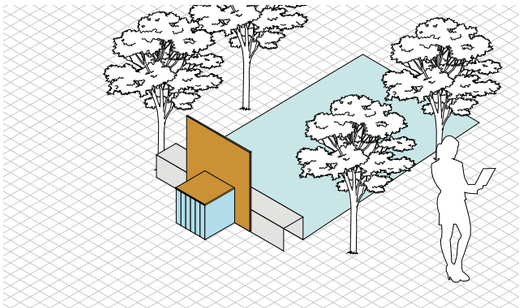

親子 - 2人

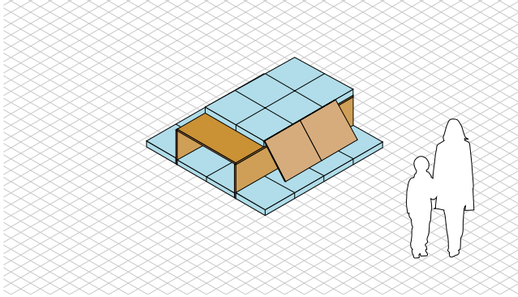

大学生 - 2人

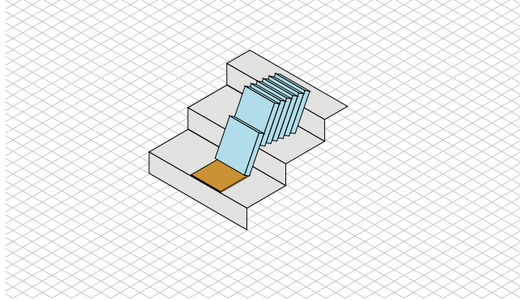

社会人 20代 - 1人

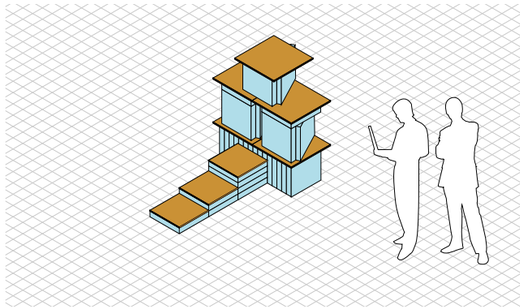

児童 - 1人


親子 - 3人


大学生 - 1人


親子 - 2人


社会人 40代 - 1人


大学生 - 4人

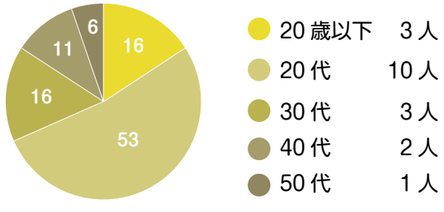
1-4　アンケート調査と結果

■ アンケート項目

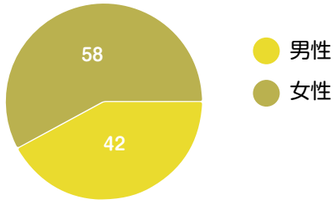
1. 年齢・性別
2. 在住地
3. 東遊園地の利用状況
4. 持参物は何ですか？
5. 持参物の選定理由
6. 東遊園地で持参物を使用した感想
7. 次回東遊園地を利用するとしたどのように利用するか。またどのようにすわりたいか。
8, 今回、企画側が用意したモノのサイズ感はどうでしたか。良かったところ、悪かったところを教えてください。
9. 他に何か思ったことがあれば自由に書いてください。

■ 集計結果

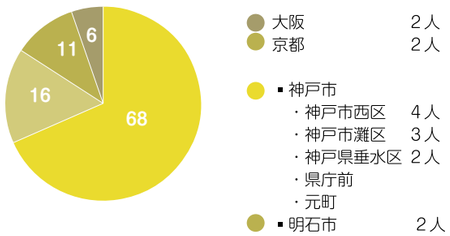
1. 年齢



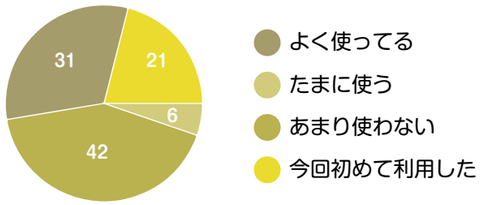
性別



2. 在住地



3. 東遊園地の利用状況



4. 持参物は何ですか？

・ノート
・ノート PC
・iPad 入れる袋
・ぬいぐるみ、水筒
・日傘
・絵本
・毛布
・指人形と置物
・タオル
・お気に入りの本、お菓子
・レジャーシート
・本
・スケッチブック、筆箱

5. 持参物の選定理由

- 暇なときに物語を書くため。
- 公園で仕事できればと思ったから。
- 忘れてたので鞄に入ってたもの。
- 可愛いから。絶対に喉が渇くから。
- 陰で自分だけの空間が作れたらいいなと思った。
- 芝生の上で読むと気持ちが良さそうだった。
- 冬の公園の使い方を考えたかった。
- 椅子に座らせることができると思ったから。
- 肌触りがよかったから。
- 落ち着ける場所を屋外に見出したかったから。
- 靴を脱ぐことで現れる「ウチ感」を作るため。
- 本を読むのが好きだから。
- 身近にあるとリラックスできるもの。

6. 東遊園地で持参物を使用した感想

・椅子作りは楽しくてノートは使わなかった。
・今回は使えませんでしたが出来そうな感じします。
・使うことはなかったです。
・使っていない。木漏れ日を利用した。
・合作で作ったので、本来の予定とは違った面白さがありました。
・いろいろなものをレンタルできる公園だといい。
・座りごこちがよかった。
・周囲の環境も相まって、リラックスでき良かったと思う。
・上手いこと使えなかったような感じがしました。
・リラックスします。
・東遊園地が家のように落ち着ける場所の一部になった。

7. 次回、東遊園地を利用するとしたらどのように利用したか。また、どのようなすわり方をしたいですか。

・芝生に寝たい。
・敷物はほしいな。
・ピクニックなどがいいなと思った。
・散歩、会話。
・リラックスできるすわり方が出来たらいいなと思う。
・腰を落とさず座れる場所があると良い。
・おひるごはん、ピクニック。
・都心の公園でうたた寝ができる。
・ワークショップでの参加や、外の空気を吸いたい時に利用したい。
・公共の場ではあるが、自分の空間を見出せるようなすわり方をしたい。
・設置場所から風景を楽しめるような様々な方向を向く椅子を作りたいと思う。
・ユルキャラのイベントを見に来ました。
・またこのようなイベントに参加したい。屋台での買い物も。

8. 今回、企画側が用意したモノのサイズ感はどうでしたか。良かったところ、悪かったところを教えてください。

・ちょうどよかった。大きさの違いがあっても良かったかも。面白いです。
・凄くちょうどいいサイズ感でした！
・子どもが扱いやすいサイズでまた頑丈で良かったと思います！
・アレンジしやすいサイズでした。
・座る場を作るってのがおもしろいなと思いました。
・丁度いいサイズでした。
・手を動かして使ってみるのが、考えやすくて良かった。
・変に手を加えずに決まった形からさまざな座る場所を作っていくのはやっても楽しかったし、見ていて楽かったです。
・スタイロフォームの数がもう少しあったらよかった。
・スタイロフォームが板状で組み合わせやすく、自分の思う形を作ることができ、良かった。
・企画用に用意していただいたサイズは全て適切で使いやすかったです。
・ちょうどよかった。なににでもなれるサイズ。

9. 他に何か思ったことがあれば自由に書いてください。

・記録の絵は可愛かったです。自分の作ったものの絵を見るのが面白かった。
・みんな違う視点があるということ、学生の気持ちが伝わるワークショップでした。ありがとうございました！
・学生の皆さん、お疲れ様でした！
・すごく、勉強になった！とても楽しかった。ぜひまた参加したい。
・新しくなる東遊園地が楽しみです。
・娘が楽しんで参加していました。ありがとうございました！
・影や日向の場所がすごく変わりやすいので、選べたり簡単に移動出来たら良いなと思いました。
・楽しかった！将来の公園で使える椅子ができるとよいです。
・飛び込みで急遽参加させてもらいましたが、子供も喜んでおり、楽しかったです。
・材料だけでなくお菓子の配布もあり、ワークショップに対する緊張がほぐれたように感じた。
・自分以外の参加者のつくったものを巡るのは、様々な形や考えに触れることに繋がり、良い刺激を受けた。

1-5　ワークショップ動画

　ワークショップが開催される打合せから当日までの様子を動画にまとめています。
右記の QR コードよりアクセスしてください。
動画製作：清水 理帆

2

関係者ヒアリング

2-1　企画内容

■ 目的

　これまで東遊園地で様々な社会実験を行ってきた、神戸パークマネジメント社会実験実行委員のみなさまならではの視点から、コンペティション開催に向けて東遊園地に設置するための座具についてヒアリングを行います。
　コンペティション開催の背景や、東遊園地を運営してきた５年間の思いについてお伺いし、公園を利用する全ての方が心地よく使って頂ける座具に必要な条件項目をディスカッションすることを目的とします。
　また、ここで頂いた意見を元にコンペティションの要項の原案を作成します。

■ 概要

日　　時　：2020 年 11 月 14 日 (土) 10 時～ 12 時
場　　所　：東遊園地 芝生広場
参 加 者　：村上豪英さま / 上戸 了子さま
内　　容　：４月の座具コンペティションの要項を作成る際の参考となる情報を得るため、ディスカッション形式でヒアリングを行い、コンペティション開催の背景や思いについてお伺いします。
また、東遊園地に設置する座具のサイズ・素材等必須条件などについてファシリテーターの学生と参加者を交えてディスカッションを行います。参加者から出た意見をまとめ、共有を行い、学生で要項作成をする際の参考にします。

■ 期待する効果

　４月に行う座具コンペティションの概要の応募条件や座具の条件などの項目整理を行うための情報を得ることと、コンペティション開催の意図や必要条件を運営側が認識を統一することが期待できます。

■ タイムスケジュール

10：00　集合
10：00-　挨拶 / 自己紹介
10：15-　座る×坐る×据わるワークショップ振り返り (映像と感想)
10：30-　コンペティションの背景について
10：40-　ヒアリング
　・コンペティション開催団体について
　・コンペティションに対する想い
　・デザイン条件について
　・応募条件
　・提出形式
　・添付資料について
　・連絡先 (問い合わせ先)]
11：40-　まとめ
12：00　終了

2-2　当日の様子

当日のヒアリングの様子をまとめました。

1.　ワークショップで使用した材料を今回も使用し、ヒアリング調査を行いました。

2.　学生と参加者を交え、コンペティションの要項に加えたい情報についてディスカッションを行いました。

3.　ディスカッションと同時進行でグラフィックレコーディングも行いました。

4.　グラフィックレコーディングで発言が可視化されることによって、発話が活性化されました。

5.　実際のコンペティションの開催例を参考に進めていきました。

6.　学生と参加者でコンペティションの要項に加えたい情報についてのディスカッションが進みました。

3

フレンズヒアリング

3-1　企画内容

■ 目的

東遊園地をよく利用している方の視点から意見をいただき運営側と意見交換を行うものです。東遊園地で新しく座具を設置する際に、利用者がより心地よく利用していただけるような座具の使い方や収納方法、サイズ等の要望をヒアリング調査することを目的としています。この収集データをコンペティション開催時に応募者に公開することで、より東遊園地らしい座具が提案される事を目標としています。

また、ここで頂いた意見を元にコンペティションの要項の原案を作成します。

■ 概要

日　　時　：2020 年 11 月 14 日 (土) 第一部：13 時 - 14 時 30 分
　　第二部：15 時 - 16 時 30 分

場　　所　：東遊園地 芝生広場

参 加 者　：対面 8 名 / オンライン 4 名
　　東遊園地をよく利用されている方
　　アーバンピクニックの準備・片付け等の運営に協力してくださっている方

内　　容　：東遊園地で起こりうるシチュエーションを分類したカードを使用して、「自分がこのシチュエーションならどうするか」をアイイスブレイクとして考えていきます。カードの内容は、利用人数・利用目的・天気・季節・時間帯など、様々なシチュエーションを想定できるものとし、ランダムにカードを引いてもらい実際に体験したことやこれからの使い方を楽しく考えていただきます。また、東遊園地に設置する座具のサイズ・素材等必須条件などについてファシリテーターの学生と参加者を交えてディスカッションを行います。参加者から出た意見をまとめ、共有を行い、学生で要項作成をする際の参考にします。
　　※対面ヒアリングが出来ない方は、個別で別日にヒアリングシートの調査のみ行いました。

■ 期待する効果

・ゲーム感覚でディスカッションを行えるため、新しい柔軟なアイデアが生まれやすくなります。
・カードを使用し自分でも体験したことがない状況について考えることで、今まで気がついていなかった東遊園地の新しい魅力を発見することにつながります。
・個別にヒアリングし、内容を記録することで、コンペ要項に必要な条件を幅広く精査することができます。

■ タイムスケジュール

〈第一部〉

13：00	集合
13：00-	挨拶 / 自己紹介
	趣旨説明
	カードゲームでアイスブレイク
13：50-	個人ヒアリング
14：20-	まとめ
15：30	終了

〈第二部〉

15：00	集合
15：00-	挨拶 / 自己紹介
	趣旨説明
	カードゲームでアイスブレイク
15：50-	個人ヒアリング
16：20-	まとめ
16：30	終了

3-2　当日の様子

対面ヒアリングの様子をまとめました。

1. 今回のヒアリングは学部生を中心に構成を練りました。みんな初めての経験だったので少し緊張気味でした。

2. 始めに、前回のワークショップの動画を見ていただきました。参加者の皆様からとても好評でした。

3. カードを使用したディスカッションは様々なお題が出題され、様々なシチュエーションを想定した話ができました。

4. 個別のヒアリングでは、より詳しい情報をたくさん聞かせていただきました。(第 2 部)

5. 現在東遊園地で使用されている湊山小学校のイスが好きだという意見も多数いただきました。

6. グラフィックレコーディング分かりやすくまとめ、興味を持って見に来られる方も数名いらっしゃいました。

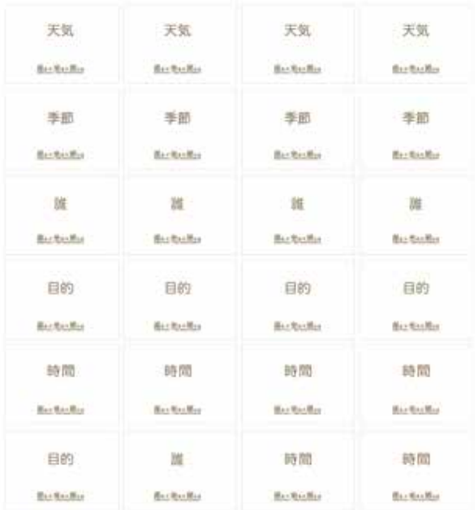
3-3　ヒアリング内容と結果

■ ヒアリングカード

カードの内容は、利用人数･利用目的･天気･季節･時間帯など、様々なシチュエーションを想定できるものです。ランダムにカードを引いてもらい実際に体験したことや、体験していない状況などをイメージしてディスカッションすることができます。　（1 回の使用時間：5 分程度）

〈表〉

〈裏〉



〈実物〉

〈使用中の様子〉

■ ヒアリングカードの結果

〈第一部〉
参加者：社会人女性３名

〈凡例〉

時間　天気　季節
誰と　目的

夕方　雨　夏
友達３人以上　ピクニック

・雨をしのぐ屋根がほしい
・夏だったらそんな寒くない
・東遊園地は不自由を楽しむ
・テントみたいなもの
・雨でも楽しむ
・グランピングクッショ , テント
・オシャレなカッパ
・キャンプ (狭い空間) もいいけど雨でもをここなら楽しめる

昼　晴れ　春
ひとり　休憩

・何もなくても豊かな芝生がある
・デザインしすぎない方がどこにでもおける
・アーバンピクニック時のハンモックがよかった
・春は芝生の質がふさふさではない
・座具があるといい (ソファ、ハンモック)
・能登半島ではスペースを借りれる制度がある
・区切られている空間は一人にもなれるけど、一人ではないことが感じられる場所にして欲しい

朝　雪　冬
大人数　休憩

・太極拳、朝ヨガの後の休憩のイメージ
・朝ごはんを食べにくる
・ココア、スープ、クラムチャウダー、バケット、
・朝がゆが欲しい
　(トッピングを変えることができる)
・緑がない、芝生が枯れる
・出勤前にいい
・座具があればいい
・KIITO に通っていを時は朝ごはんを買っていた
・テントとか屋根があり、雪が積もってない
・温かいコーヒー、ココア (カフェ)
・石のところは夏の昼間熱いし、雨の日は冷たい
・ヨガ、ランニング
・カフェの中から雪をみたい
・神戸は朝活・朝登山が活発

夕方　晴れ　秋
家族　運動

・球技はできない
・キャッチボールが調度いい
・ボルダリング
・東遊園地は木登りができる
・卓球台は調度よかった
・木にくもの巣みたいに貼りめぐらせる
・なわとび
・高いとこからみると夜景キレイかも？
・筋トレ
・ツリーハウス、段差を使ったもの
・韓国はバス停の横に運動できる器具がある

夜　晴れ　秋
ひとり　ピクニック

・ひとりグランピング
・ひとりでもピクニックしたくなる
・ひとりだと荷物があり、もってこれない
・手ブラできても楽しめる
・近くのお店でコーヒーを作るセットをレンタル
・過ごし方セットが欲しい
（温かいコーヒーをつくるセット、読書、
スープ、コーヒー、ブランケット）
・カラフルなブランケット・カゴがあるといい
・火をつかえたら良い
（コーヒー、チーズフォンデュ、ホットワイン）
・普通はベンチ、非常時にかまどにしたい
・WS では木陰でイスを作っている人がいた

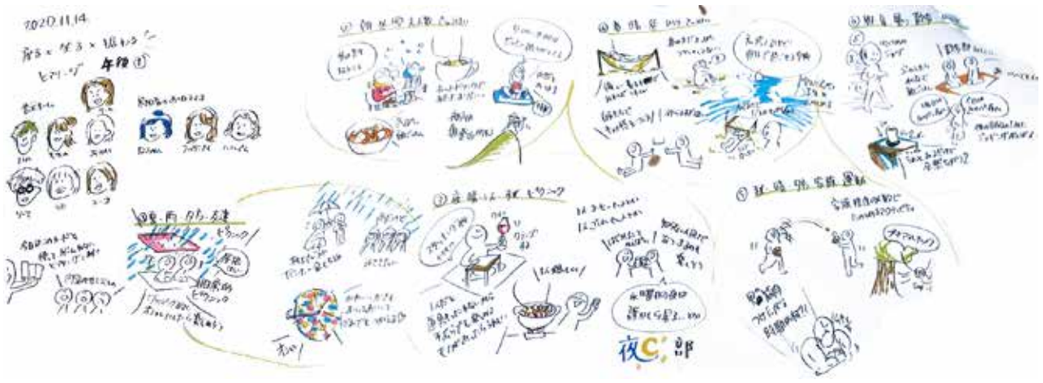
朝　曇り　夏
ひとり　散歩

・夏の朝に散歩は気温もいい
・何か軽食等があればいいな
・耳で聞きながら集まってお茶も期ではん
・目的があるとひとりでも輪に入ることができる
・学生時代　週１目標で散歩
・街にでて朝ごはん
・座具にコーヒを入れる場所があるといい

■ グラフィックレコーディング

製作：中塚 優音

〈第一部〉



〈第一部〉

〈第二部〉
参加者：社会人ご夫婦１組
社会人男性　２名
社会人女性　１名

〈凡例〉

時間　天気　季節
誰と　目的

夕方　曇り　冬
大人数　ピクニック

・おしくらまんじゅうしたい
・夜ウォーキング
・20 代半ばから 30 歳の人が 4 ～ 5 人ひざかけを
して、何か飲んでいるイメージ
・コタツはとてもいい空間を作っていた
（回転率はあまりよくない）
・カルタ大会をやってみたい
・焚き火スペース
（みんなで囲める何かがあると面白いのでは）
・電気は太陽光を利用しより活用しやすい場所に
・足湯の設置はどうだろう（夏は水で)10 分つかっ
ただけでも回復する（鹿児島の公園にあり）
・楽器を弾く会が面白いのでは

夕方　雪　冬
家族　散歩

・クリスマスソンクが聞こえそう
・孫をつれてくる
・あんどんをおくだけで人が集まるのでは
・ガイドツアー
・座具が発光すると面白い
・東遊園地は少ししかない灯りがないので移動でき
る灯りが欲しい
・暗い公園って不安
・黄色っぽい灯りがいい
・白い LED はあまり使って欲しくない
・ランタンが欲しい
・火ががドット絵の暖炉っぽいものもある

昼　曇り　夏
ひとり　ピクニック

・ライブラリーから本を借りてドリンクを飲む
・保冷ホルダーがあるといい
・全部同じ方向にイスを向けない
・自分で動せるイスがいい
・夏は太陽が沈むのが見える
・ハンモックでゆったりしたい
・ひとりになれる仕掛けを作る（イス、スペース）

昼　雨　春
ひとり　運動

・春の登山イベントは雨で中止になる
・ランニングはできる
・ぐるっと周ったりできるジョイントがあるイス
・東遊園地荷物を極力少なくどう楽しむかが重要
・子供にも遊具など与えすぎない場所にして欲しい
・公園一周何 kcal かをアーバンピクニックで表示
したい
・ひとりで過ごせるように移動用のランタンがある
といい

■ ヒアリングシート項目

東遊園地のための座具のコンペ要項に必要にな理想な情報を収集するために、カードでブレストを行った後、ヒアリングを行いました。（一回の使用時間：30 分程度）
回答者：12 名

東遊園地ヒアリング内容

ヒアリングするときの注意点として、自分も説明時に具体例をあげるなどをして、より詳しく聞き出しを行う。

回答してもらった回答の理由を詳しく、お互いに掘り下げていき漏れなく記入する。

（非公開）名前（　　）　ふりがな（　　）

（公開）

・性別（　　）年齢（　　）　職業（　　）

① 東遊園地に来る目的

② いつ来場することが多ぃか

③ 誰と使用することが多いか

④ 滞在時間

⑤ URBAN PICNICで使用されていたイスについて
（満足できたこと）

（不満があったところ）

⑥ 東遊園地に行く際によく持ちこんでいたものはあるか

⑦ こういうものがあったらいいなというものはあるか（例：レジャーシート）

⑧ これまでの東遊園地について（理由も）

（満足できたこと）

（不満があったところ）

⑨ これからの東遊園地に期待していることはあるか

⑩ これからできるニュー東遊園地についての自身の思いや、やってみたい座り方

⑪ これまでに東遊園地やURBAN PICNIC等でイベント経験（ある・ない・やってみたい）また、NEW東遊園地ではどんなことをしてみたいか

■ ヒアリングシート結果

〈凡例〉

性別	年齢	職業

女性　48 歳　経営者

①・アーバンピクニック：人に会う　日常：仕事の合間
・本を読む ＝ 一人になれる貴重な時間を過ごしたいと思える場所

②・一息つきたいとき
・UP 会期中に人に会いにいく

③・ひとり（東遊園地は知り合いに会いに行く、来る場所）

④・場合による。大体 2 時間程度　一息：15 分～ 30 分

⑤（満足できたこと）
・湊山で使用されていた背景や歴史を感じる、写真映えする、テーブルとして使えた、耐久性の良さ、移動しやすい大きさ・軽さ
・安易にお金を使わずにこの椅子を選び使用されている事
（不満があったところ）
・リラックス感が足りない
・汎用性が高いため、数がもっとほしい
・大人がゆったりは座れないがその不自由感が良さでもある

⑥・本
・飲食物 (おつまみ・お酒を持ち寄りで行ったパーティが印象的)
・花火

⑦・ハンモック
・WIFI(充電スポット)
・ソーラーパネルなどのインフラ整備
・照明

⑧（満足できたこと）
・芝生：豊かに見える、使っていい場所という意識が生まれている
・長年の SNS などの情報発信

（不満があったところ）
・トイレを近くしてほしい　・水道がほしい
・日陰や雨をしのげるものが少ない (UP の小屋が大盛況だった)

⑨・市民の東遊園地への関わり (自分ごとにする機会が増える)
・東遊園地を使う人が生活＋α（文化やアートを感じ、発信）できる場所にしてほしい。
・愛着のある他にはない場所にしてほしい（人をつなぐ場所）

⑩・遊びに行きたいです！
・今後どうなっていくのか楽しみ
・自分も何か役に立ちたい

⑪・演劇や、楽器など、ふらっと立ち止まって芸術を感じ、パフォーマンスできる場所にしたい

女性　28 歳　会社員

①・ふらっと寄る
・職場の人と食事
・カードでいうと“休憩”
・日向ぼっこ

②・通勤の途中
・朝か昼

③・ひとり
・事務所 (職場) の人と　※半々くらい

④（満足できたこと）
・芝生に近い
・高さが低いところが良い
（ レジャーシートよりはハードルが低い)
・机として使える
・持ち運び (移動) ができる

（不満があったところ）
・低いため、立つときに少し力がいる

⑤・基本手ぶら (コーヒー、財布、携帯くらい)

⑥・机
・日陰や木陰が作れるもの (屋根等)

⑦・雨が避けられるもの
・夜の照明
・トイレまで行かなくても使えるちょっとした手洗い
・○○セット (本を読むセット、コーヒーセット…)

⑧（満足できたこと）
・夏は芝生が緑で良い
（不満があったところ）
・季節感がない (桜の木など)
・動物の声がしない
・夜が暗い
・コミュニティ感が強く、公園っぽくない

⑨・来る人が誰でもいいわけではない
→過ごしやすい居場所としての東遊園地

⑩・管理者だけが管理できるものではなく、好きな時にとって使えるようなものができるといい
・時間の経過によって変化がでるものを置いて、20 年後見たときに「あの椅子私が座ってたやつだ」と、感じるようなものがあると良い

⑪・東遊園地だけでなく、周りの街全体とつなげる。
(元町からツアーをして、最終目的地が東遊園地→ツアーでみかけた店にまた行くことで、きっかけづくりができる)

女性　37 歳　会社員

① イベントに参加している人たちに会いに来るため

②

③ 現地で会った人と交流している

④ 30 分～半日

⑤（満足できたこと）
・雨で濡れても自然に乾燥する部分がいいと思った（プラスチックなどだったら水を弾くぶん後で拭き上げないといけないため）

（不満があったところ）
・なし

⑥ ほとんど予定して、ものを持ってこない

⑦・広い空間であるためいろんな視点で楽しみたいので高低差のつくような何かがあれば面白いのでは？
・レンタルの傘

⑧（満足できたこと）
マップやガイドツアーなどを提案することにより、歴史を知る機会ができた

（不満があったこと）
・太陽が遮られるものがない
・冬に芝生が枯れることはわかっているけど残念
・トイレが遠い

⑨・今の程よい市民へ開放できている空間を持続させていきたい
・365 日利用される場所を提案したい

⑩ 作る側としても「これからの東遊園地に期待していることはあるか」と同じことを考える

⑪ 隠れたニーズ（あったらいいなと思うようなこと）を探して形にしていきたい

男性　60 歳　公務員

① 会社の通り道・UP の片付け

② 毎日来園

③ ひとり

④・アーバンピクニック時：1 時間～1 日
・ランチ：20 分～ 30 分
・日々の通勤：1 分

⑤（満足できたこと）
・テーブルとして使えた
・耐久性の良さ
・移動しやすい大きさ
・軽さ
・佇まいが可愛い
・愛着が持てる

（不満があったところ）
なし

⑥ これといってはなし

⑦・常設の UP
・幼児がちょこんと座れる椅子
・夜に LED のランタン
・足湯
・地元六甲山の間伐材を使用したイス

⑧（満足できたこと）
・芝生
・コンテナがお洒落
・プログラムが充実している

（不満があったところ）
・真冬や、真夏の天候は来にくい
・日陰がない時間帯がしんどい

⑨ 駅から少し遠い行きにくい場所ではあるが、それを払拭する来たくなるような更なる工夫に期待

⑩・とても期待感に溢れている、定年後の雇用！？
・移動しやすくすぐ座れるもの

⑪・料理を作ったりと火を使いたい企画するなら仲間内でパーティ
・還暦パーティ
・結婚式の前撮りのケータリングを行ったパーティが楽しかった
・常設がケータリングをウェルカムにしてほしい

女性　36 歳　ー

① 心境の変化により目的も変化している

②・URBAN PICNIC
・待ち合わせの場所
・打ち合わせ

③ いろんな人

④ アーバンピクニック時：2 時間程度
一息：10 分～ 30 分
散歩：季節による

⑤（満足できたこと）
様々なシュチュエーションで利用することができる

（不満があったところ）
UP のカフェの周りだけにあること

⑥・今年：レジャーシートトイレ
・足洗い場
・ゴミ箱
・街頭

⑧（満足できたこと）
歴史をしることで愛着を持つことができた

（不満があったこと）
コミュニティが形成されることにより、自身の視野をせまくなることがある

⑨・公園に保育園を作りたい
・程よく便利で程よく不便な場所
・神戸の人たちの新しい人を受け入れる少しお節介なところをそのまま残したい（少し近く、離れるコミュニティ）

⑩ 様々な健康状態の人たちが利用できる座具を提案したい

⑪・新しいテーマを持つことができたらいいと考える
・いろんな人の健康維持を推進する公園作り

男性　57 歳　会社員

①・UP の片付け
・土曜はファーマーズマーケット
・イベント

②・KIITO の行き帰りの途中
・週末

③ ひとり

⑤（満足できたこと）
机として使っていた

（不満があったところ）
軽くて頑丈な椅子がほしい

⑥・LED ライト
・頭につけるライト
・ガスランタン
・フルーツのなる木 (昔のように勝手にとって食べていたイメージ)
・花を植えていい場所、プランター

⑧（満足できたこと）
・ガイドツアーで植物やモニュメントそれぞれに背景があることが知れて楽しかった
・小さい子ども向けのイベントが楽しい

（不満があったところ）
・芝生が一年中青かったら良い
・禁止事項の張り紙が景観を壊しているように見える

⑨ガイドツアー

女性　44 歳　会社員

① 知人がアーバンピクニックの主催者側なので

② 休日の日中

③ 一人か知人と

④ 1 時間程度

⑥ なし

⑦ 影が作れるもの

⑧（満足できたこと）
・芝生が出来て格段に居心地が良くなった

（不満があったところ）
・夏の日中には影が少ない

⑨ 年中アーバンピクニックが開催されているような感じになることより自然を感じながら過ごせるようになること

⑩ より地面に近くで地面を感じながら座りたい

⑪ 芝生で読書

男性　26 歳　会社員

①・アルバイトをしていた (カフェ店長)
・お酒を飲みに行く

②・天気が良い日

③・基本 1 人 (行ったら誰かいる)
・公園にいる子供 (絡まれる→遊ぶ)

④・長くて 1 時間～ 2 時間

⑤（満足できたところ）
・移動させることができる (木のイス)
→子供でも扱える、(高さが低いため) イスと机両方に使える

（不満があったところ）
・自分自身はあまり座らなかった (机にしていた)

⑥・酒 (ワイン)
・本 (勉強、小説)
・空気で膨らむソファ
・コンパクトに持ち運びができて、大きくなるもの屋根

⑧（満足できたこと）
・公園にいる人数が丁度良い

（不満があったところ）
・テント
→見られたくないのであれば公園に訪れなくて良いのでは？
・直射日光が当たりやすい

⑨・現状維持 (飾らず、混まず)
・少し使いにくいを改善

⑩・何通りかの座り方ができる座具
・ワインを置いて座りたい (地面には座りたい)
・本が読めるイス
・芝生に座りたい
・みんなが集まるとイスが机として活躍する
・人を呼びたいではなく、公園を楽しみたい

⑪【ある】
・異文化交流フェス
→混雑していた、落ち着かなかった
・ワインフェス
→適度な距離感が保てていて居心地が良かった
・普段来ない人など、みんなが来るイベント

女性　26 歳　会社員

①・ミーティングや自分の活動
・ランチ
・KIITO へ行く途中の休憩

②・午後
・お昼

③・基本 1 人
・1 度だけ友人と

④・長くて 30 分
・活動するときは 6 時間半ぐらい

⑤（満足できたところ）
・絵になる、話題になる (Instagram) など
・平らなので、机代りになる

（不満があったところ）
・1 人では座れない→恥ずかしい
(ベンチやカフェの近くのイスには 1 人でも座っていた)

⑥・文庫本
・昼食
・レジャーシート

⑦・安全な水飲み場
・貸し出しレジャーシート
・遊ぶもの (卓球、バドミントン)

⑧（ 満足できたこと）
・芝生→見ているだけでも楽しめる
・木が多く見られる

（不満があったところ）
・日陰が少ない
・用水路に水を流してほしい (お金がかかりそう)

⑨・色々なコミュニティがあり続けいてほしい
・お金儲けに走らずこのままであり続けてほしい
→企業に介入してほしくない (スターバックスなど)
・こどもに優しい公園であってほしい
→こどもがいる空間は幸せな雰囲気
・緑を減らさないでほしい
・全ての施設が整うと寂しい (街とは違う場所ではあってほしい)

⑩・みんなで集まりたい
・寝転がりたい
・地面に座りたい

⑪・パブリックビューイング→みんなで集まって、座って開催できるイベントがしたい (星、ライブ、映画)
・普段、芝生に座ろうとしない人が非日常になれるイベント
・普段来ない人も来やすいイベント・茣蓙を使ってピクニック
・写真コンテスト (東遊園地で撮影した写真)
→知らなかった東遊園地を知れる持参した箱の中の本を売買または交換するイベント (古本市場のような)

女性　37 歳　会社員

①・URBAN PICNIC
・人に会うため

②・朝や午前中
・たまに夕方

③ 一人

④ 1 時間以内

⑤（満足できたこと）
・2017 年は大きな机もあって大人数で座ることが出来てよかった
・小学校の椅子はあまり好きじゃないので使用しなかった

（不満があったところ）
・上記の椅子は大きいため、ホームレスが寝ることがあった

⑥・食べ物
・フリスビー (たまに)

⑦・サッカーボール
・バトミントン
・屋根

⑧（満足できたこと）
・カフェ等とは違い、オープンな空間なので、座って話していても知らない人が入ってくることができる

（不満があったところ）
・上記の時、椅子が大きくないと、初対面の人が隣に座ることになってしまっていた

⑨ 東遊園地ならではの遊び方を見せ合う・考えるイベントがあったら楽しそう (今も人によっていろいろな過ごし方、遊び方があって、新しい発見ができて楽しい)

⑩・話すことが好きなので、向き合って話せる椅子が良い
(机を挟むなど)
・長居はしないので、高さが低かったり、深く座ったりものでない方が良い (公園らしい椅子が良い)
・本を読むときもちょっとした机が欲しい
・公園はくつろぐイメージではない。
くつろぐ椅子を求めているならカフェに行く

⑪ ある

3-4　まとめ

今回のヒアリング調査から、今まで頻繁に東遊園地を利用してきた方々の使い方や思いなどを聞くことができました。普段の使い方の中で多数の意見をいただいたのが、「読書」と「お酒を飲むこと」でした。 Urban picnic に関わっている方々は、1 日を東遊園地内で過ごすこともあります。その中で、大人だからこそできる時間の使い方を見つけている人が多いことがわかりました。　また、東遊園地を使用している中での不満と期待の声が交差していることに気がつきました。 不満の中で特に多かった意見として挙げられるのが、日差しを遮れない公園の作り、水場の不足、東遊園地に関係のないイベントの開催でした。 しかし、この意見を別の視点から見て見ると、自分たちで遮光できるような場所作りや工夫、水場があることによる公園の利用目的の発展性、東遊園地だからこそできる街の活性化などがあると感じました。期待していることからも、些細な気遣いや優しさが感じられる公園になってほしいという意見が多く、よりよく公園を作っていくためのヒントを発見することができました。

そして、ほとんどの方に共通していた東遊園地の価値として、「誰かに会いにいく場所」という意味づけがされていることでした。　知り合いでもなく、約束をしているわけでもなく、「東遊園地に行けば誰か会える…」という思いで日々足を運んでいる方が多く見られました。 これは、神戸の都心の中でも特異な性質を持っている場所であると考えられます。　お店や公共施設など、利用する目的が同じで集まる人たちとは違い、それぞれ別の目的で集まっているにも関わらず、知っている人と出会える場所だという認識を改めて認識できる機会となりました。

以上の意見から、東遊園地を活用し、独自のコミュニティを形成するために、人と人の繋ぎ目の役割を担うための座具を製作する必要があると考えます。